

**令和2年度進行管理・評価シート**  
**高山市歴史的風致維持向上計画（平成30年3月26日認定）**  
（最終変更 令和3年2月15日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画との連携①	.....	2
2 景観計画との連携②	.....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物活用整備事業	.....	4
2 歴史的町並保存事業	.....	5
3 景観重要建造物等修景事業	.....	6
4 伝統構法木造建築物耐震化事業	.....	7
5 無電柱化等事業	.....	8
6 町並み景観保全事業	.....	9
7 屋台保存事業	.....	10
8 伝承芸能保存事業	.....	11
9 郷土の歴史・文化の語り部育成事業	.....	12
10 伝統行事担い手支援事業	.....	13
11 文化遺産・地域資源活用調査事業	.....	14
12 町並み歩行空間創出事業	.....	15
13 スポット整備事業	.....	16
14 まちの博物館外国語対応事業	.....	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理事業、周辺環境の整備事業等	.....	18
2 文化財に関する普及・啓発の取組等	.....	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 新聞報道	.....	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客等の回遊性の向上	.....	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	22
-------------------------	-------	----

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	計画の推進にあたっては、都市計画課と文化財課が事務局を務め、各事業の実施については、各事業担当課と連携調整を行うとともに、文化財所有者や周辺住民、関係団体や事業者等と協議・調整を行うものとする。また、必要に応じて国や岐阜県、各審議会と協議を行い、助言や支援を得るとともに、法定協議会である高山市歴史的風致維持向上計画協議会において、計画の推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画課と文化財課の連携の下、計画の推進を図った。 各事業の検討においては、事業所管課を中心に関係各課との連携を図るとともに、地元住民や関係団体等と意見交換を重ね、事業の推進を図った。住民等との意見交換により、事業に対する地元の理解を深めることができた。 計画の進行管理・評価においては、令和2年度進捗評価を実施し、その評価結果について法定協議会である「高山市歴史的風致維持向上計画協議会」から意見聴取を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p><b>■ 法定協議会への協議状況</b></p> <p>○高山市歴史的風致維持向上計画協議会(書面会議)                              意見聴取期間 令和3年4月19日～5月7日                              (議題)                              ・令和2年度進行管理・評価について</p> <p>→各委員からの意見に対する回答や今後の対応については、全委員に書面にて報告</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>令和2年10月9日に開催した文化財審議会の様子</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>■ 関連協議会への協議状況</b></p> <p>○高山市伝統的建造物群保存地区保存審議会                              開催日 令和2年9月14日                              開催場所 高山市役所4階中会議室                              (議題)                              ・伝統的建造物群保存地区拡大に向けた取り組みについて                              ・伝統的建造物の追加特定について</p> <p>○高山市文化財審議会                              開催日 令和2年10月9日                              開催場所 高山市役所3階行政委員会室                              (議題)                              ・文化財指定候補について                              ・伝統的建造物群保存地区拡大に向けた取り組みについて                              ・松倉城跡、広瀬城跡の国指定に向けた取り組みについて</p> </div> </div>			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
<p>景観計画との連携①(景観重点区域における景観基準)</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
<p>計画に記載している内容</p>	<p>城下町高山の大部分を「城下町景観重点区域」、「風致地区景観重点区域(城山、北山、東山)」及び「中心商業景観重点区域」に指定しており、「景観重点区域」において建築物の新築・改築・色彩の変更等を行う場合は、条例により市への届出が義務付けられている。</p>		
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>			
<p>「景観重点区域」において建築物の新築等を行う場合、条例により市への届出が義務付けられているが、さらに、大規模な案件や重要性の高い案件の場合、高山市景観町並保存連合会において協議を行うこととしており、組織全体としての意見がまとめられる体制が構築されている。</p> <p>本年度は以前より協議を行っていた重要伝統的建造物群保存地区に隣接する建築物について、色彩変更を伴う外壁改修工事が終了し、周辺に調和した良好な景観が形成された。</p> <p><input type="checkbox"/>令和2年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議を経て改修が行われた建築物:1件</li> </ul>			
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p>	<p>実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</p>		
<p><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している</p> <p><input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</p>			
<p>状況を示す写真や資料等</p>			
<p>景観町並保存連合会での協議を経て色彩の変更が行われた建築物と景観</p>			
			
<p>改修前</p>		<p>改修後</p>	

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
<p>景観計画との連携②(景観重要建造物の指定)</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
<p>計画に記載している内容</p>	<p>地域の個性ある景観づくりの核となる建造物については、景観計画に定めた指定の方針に基づいて景観重要建造物に指定し、その保全と活用を図る。</p>		
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>			
<p>景観計画に定める指定方針に基づき、大正末期の建築とされる洋風建築「旧須田歯科医院」を新たに景観重要建築物に指定した。今回の指定で、市内の景観重要建造物は計16件となった。                      市内には大正期の洋風建築はほとんど残っておらず、歯科医院を営むために建てられたこの建造物は、西洋医学を象徴する大正期の洋風建築としてたいへん貴重であり、江名子川沿いのランドマークとなっている。                      指定によって、地域の個性ある景観づくりの核となる建造物の保全と継承が図られることとなった。  <input type="checkbox"/>令和2年度実績                      ・景観重要建造物の指定:1件</p>			
<p>進捗状況 ※計画年次との対応</p>	<p>実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</p>		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
<p>状況を示す写真や資料等</p>			
			
<p>指定第16号「旧須田歯科医院」</p>			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用を図るため、空き家となった町家等を取得又は借上げのうえ修理・修景を行い、地域の歴史的風致の核となる施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宮川左岸にある空き家となった大正時代の町家(旧大政)について、賑わい創出施設(仮称)として整備を行うため、令和2年度、設計業務を実施した。 この施設は、国道158号以北の宮川河川軸の周辺エリアにおいて、市民や観光客の回遊性の向上や滞在時間の延長を図るため、昨年7月に供用開始した行神橋の周辺に人の流れを「誘引」し、誘引した人を「滞留」させ、滞留した人を本町通りや周辺エリアへ「誘導」する機能を備えた多目的施設として整備し、令和4年4月のオープンを予定している。 地域の歴史や景観に配慮した建物改修等により、まちの魅力や価値を高め、周辺エリアはもとより、中心市街地の回遊性の向上、賑わいの創出を図る。 □令和2年度実績 ・建物改修等工事設計：一式			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
改修予定の旧大政(染物店)			
			
整備後のイメージ図			

項目		評価対象年度	令和2年度
歴史的町並保存事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和54年度～令和6年度		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理及び外観の修景、防火対策に要する経費の一部を助成することにより、歴史的な建造物の保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修理や修景を実施することにより、建造物の適切な保存や町並の景観保全を図ることができた。また、防火帯としての土蔵に防火対策を施し、地区内における防火帯維持を図ることができた。			
<input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・伝統的建造物群保存地区保存修理事業 修理補助:6件(修理:4件、修景:2件) ・伝統的建造物群保存地区防災対策事業 修理補助:6件、高山市政記念館耐震補強工事に係る設計業務:1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
伝統的建造物群保存地区保存修理事業により修理が行われた住宅			
			
修理前		修理後	
伝統的建造物群保存地区防災対策事業により整備が行われた土蔵			
			
整備前		整備後	

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
景観重要建造物等修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	景観重要建造物の外観を維持するために必要な修理や修景に要する経費の一部を助成することにより、まちの景観形成の核となる建造物の保全を図る。 市街地景観保存区域内において行われる建築物の新築・修理等の行為が、伝統的な意匠を基本とした一定の基準を満たす場合に、当該行為に要する経費の一部を助成し、町並み景観の保全を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観重要建造物の外観を維持するために必要な修理、市街地景観保存区域内の建造物における一定の基準を満たす建築行為に対して助成を行った。歴史ある建造物の維持保全にかかる所有者の経済的負担を軽減するとともに、建造物の形態や意匠等の無秩序な変更を防ぐことにより、周辺の景観と調和した趣のある町並みが保全された。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・景観重要建造物修景事業補助 重点区域内:1件(R元:計3件) ・市街地景観保存区域建造物修景事業補助 重点区域内:6件(R元:8件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
景観重要建造物修景事業により修景が行われた建造物			
		➡	
修景前			
修景前		修景後	
隣接していた建築物の解体に伴い、あらわとなった側面の改修を行い、新たに外壁を設けた。			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
伝統構法木造建築物耐震化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	建築基準法施行前に建築された木造建築物は、現在の建築基準法に基づく耐震診断を行った場合、耐震性が非常に低いという結果が出てしまうが、反面、柔らかさや粘り強さがあるという特徴があることから、その特徴に応じた耐震診断や耐震改修工事を行うための「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」を平成25年度に作成した。このマニュアルに基づいて行われる、伝統的な木造建築物の耐震診断や耐震改修工事に対して補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度に作成した「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」に基づいて行われた、伝統的な木造建築物の耐震診断や耐震改修工事に対して補助を行った。耐震性の向上により、継続的に居住できる環境と伝統的な建造物の維持が図られた。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・伝統構法木造建築物耐震化事業補助 耐震診断:2件(R1:2件) 耐震改修:2件(R1:1件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
耐力壁(板壁)の新設や、既存の板壁を耐力壁(板壁)にすることにより、建築物全体の耐震化を図る。			
現行の建築基準により耐震改修を行うと歴史的な建築物の形態・意匠を維持できないことが多い。 上の写真は、耐震補強金物を用いず板壁で耐力壁を設けることで、形態・意匠の維持と柔らかく粘り強い伝統構法木造建築物の特性に応じた耐震改修を行った箇所。			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
無電柱化等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	高山駅方面から三町伝統的建造物群保存地区や飛騨高山まちの博物館へつながる通り等において、伝統的な町並み景観の再生を図るため、景観を阻害している電線等を地中化するとともに、車道・歩道・側溝等について景観に配慮した整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
当該路線において無電柱化に必要な地上機器の設置位置の確保が困難であったが、地元関係者等への説明・交渉を行い設置位置が決定した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地元説明会を開催することができなかったが、戸別訪問し事業への理解と協力を求め、工事を着工することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地上機器設置位置を含めた全体の修景方法や、無電柱化に伴う民間施設の改修を伴うことから、地元関係者と協議し進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
無電柱化予定路線の現状			
			
無電柱化整備後イメージ			

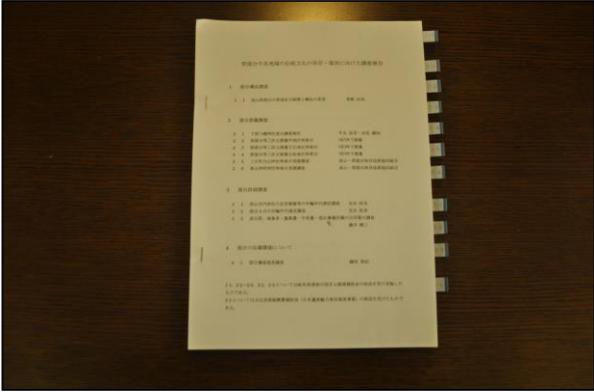
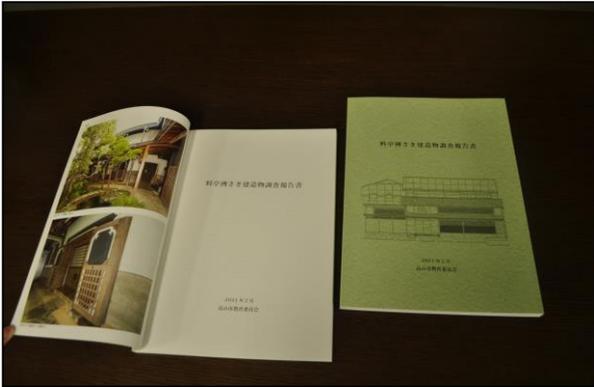
項目		評価対象年度	令和2年度
町並み景観保全事業			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	良好な町並み景観の創出を促進するため、景観に配慮した形態意匠の看板を設置する場合や、板塀や生け垣を設置する場合等に補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>高山の景観にふさわしい看板の設置やふさわしくない看板の撤去、生け垣や板塀等の設置に対し助成を行った。広報紙やホームページなど様々な媒体を通じ助成制度の周知に努めてきたところ、制度の活用者も増え、町並み景観の向上に大きく貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/>令和2年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看板設置及び撤去補助 重点区域内:6件 重点区域外:7件(R元:計27件※景観計画の見直しに伴う特例補助のため)</li> <li>・生垣設置補助 重点区域内:1件 重点区域外:7件(R元:計5件)</li> <li>・塀等設置補助 重点区域内:3件 重点区域外:17件(R元:計17件)</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
景観形成事業(塀等設置)補助金の活用により新設された塀			
			
設置前		設置後	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 樹木の成長により通行の妨げとなってきた生け垣を撤去し、景観にふさわしい塀を新設した。             </div>			

		評価対象年度	令和2年度
項目			現在の状況
屋台保存事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	屋台修理:昭和39年度～令和6年度 保存活動への助成:平成2年度～令和6年度		
支援事業名	屋台修理:重要有形民俗文化財修理、防災事業 保存活動への助成:市単独事業		
計画に記載している内容	非常に価値の高い意匠を持つ高山祭の屋台の保存管理については、専門的な技術による管理やからくりの伝承等が不可欠であるとともに、屋台の修理には多額の資金が必要である。必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、屋台修理・屋台蔵修理を計画的に実施するとともに、屋台の保存に関わる団体の活動に対して助成を行い、屋台の保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山祭屋台の保存修理事業を行い、将来への屋台の継承に寄与した。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・宝珠台、神馬台修理 高山祭屋台の保存防災施設である屋台蔵の修理を実施し、防災・防犯の機能を回復させた。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・豊明台屋台蔵修理 高山祭の屋台を保存する活動を行う団体や修理技術者の育成事業に対して補助を行ったことにより、屋台の保存や修理技術の継承に寄与した。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・高山祭屋台管理費補助金:1件 (高山屋台保存会) ・からくり屋台管理技術伝承保存補助金:1件 (高山屋台保存会) ・高山祭屋台保存技術伝承保存補助金:1件 (高山・祭屋台保存技術協同組合) ・高山祭屋台保存技術研修事業費補助金及び技術修得補助金:1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
宝珠台の組み立て			

		評価対象年度	令和2年度																						
項目		現在の状況																							
伝承芸能保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																							
事業期間	平成2年度～令和6年度																								
支援事業名	市単独事業																								
計画に記載している内容	市内各地で行われている伝承芸能、祭礼活動等は、そこに住む人々の教養や娯楽、環境等から生まれた特有の文化であり、地域の誇りである。しかし、近年、後継者の不足や保存会活動費の不足等で伝承していくことが困難となっている。これらの保存活動に対して助成を行うとともに、記録映像を作成し後継者育成に活用することで、後世への継承を図る。																								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																									
地域の伝承芸能の保存団体に対して活動助成を行ったことにより、伝承芸能の継承に寄与し、地域の誇りの醸成に貢献した。令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い伝承芸能、祭礼活動等が例年通り行えなかったが、関係者への調査を実施するなど実態の把握に努めた。																									
<input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・伝承芸能保存団体補助金:19件																									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない																									
状況を示す写真や資料等																									
<p style="text-align: center;"><b>■伝承芸能保存団体</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>高山市子供伝承芸能連合保存会</td> <td>伊勢神楽保存会</td> </tr> <tr> <td>岩滝民謡保存会</td> <td>ひねりの舞保存会</td> </tr> <tr> <td>飛騨総社親子獅子舞保存会</td> <td>荘川民謡保存会</td> </tr> <tr> <td>高山民謡保存会</td> <td>一之宮町子ども会闘鶏楽伝承会</td> </tr> <tr> <td>下切町金蔵獅子保存会</td> <td>桐谷槍獅子保存会</td> </tr> <tr> <td>飛騨東照宮おかめ・獅子舞保存会</td> <td>金桶金蔵獅子保存会</td> </tr> <tr> <td>飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会</td> <td>広瀬金蔵獅子保存会</td> </tr> <tr> <td>千島白山神社獅子舞保存会</td> <td>荒城神社無形文化財保存会</td> </tr> <tr> <td>錦山神社徳兵衛獅子保存会</td> <td>上広瀬金蔵獅子保存会</td> </tr> <tr> <td>新宮町伊勢神楽保存会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宗和流四常社</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				高山市子供伝承芸能連合保存会	伊勢神楽保存会	岩滝民謡保存会	ひねりの舞保存会	飛騨総社親子獅子舞保存会	荘川民謡保存会	高山民謡保存会	一之宮町子ども会闘鶏楽伝承会	下切町金蔵獅子保存会	桐谷槍獅子保存会	飛騨東照宮おかめ・獅子舞保存会	金桶金蔵獅子保存会	飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会	広瀬金蔵獅子保存会	千島白山神社獅子舞保存会	荒城神社無形文化財保存会	錦山神社徳兵衛獅子保存会	上広瀬金蔵獅子保存会	新宮町伊勢神楽保存会		宗和流四常社	
高山市子供伝承芸能連合保存会	伊勢神楽保存会																								
岩滝民謡保存会	ひねりの舞保存会																								
飛騨総社親子獅子舞保存会	荘川民謡保存会																								
高山民謡保存会	一之宮町子ども会闘鶏楽伝承会																								
下切町金蔵獅子保存会	桐谷槍獅子保存会																								
飛騨東照宮おかめ・獅子舞保存会	金桶金蔵獅子保存会																								
飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会	広瀬金蔵獅子保存会																								
千島白山神社獅子舞保存会	荒城神社無形文化財保存会																								
錦山神社徳兵衛獅子保存会	上広瀬金蔵獅子保存会																								
新宮町伊勢神楽保存会																									
宗和流四常社																									

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
郷土の歴史・文化の語り部育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	多くの市民が郷土の歴史・文化を語るができるよう、高山市が認定する歴史ガイドマスターが講師となり、市民による「語り部」を育成することで、後世への継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山の歴史・文化・自然・ガイド技術などについて学ぶ、語り部養成講座を開催した。参加した市民、ガイドボランティア、観光業者等の方々は、語り部としての活動に役立つ知識や技術を習得することができ、語り部としての資質の向上に寄与した。 <input type="checkbox"/> 令和2年度語り部養成講座開催実績 ・開催回数:3回(全6講) ・参加延べ人数:109人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
語り部養成講座の実施状況 (令和2年10月10日)			

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
伝統行事担い手支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和6年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	祭りなどの伝統行事の継続に苦慮している地域において人材の確保を図るため、地域内外から伝統行事の担い手として高い志を持った人を募り、伝統行事の実施者と支援希望者をマッチングさせるための人材登録・斡旋を目的とした仕組みの構築及び組織化を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和2年度は、支所地域及び文化財に指定されていない伝統行事まで対象を広げて、幅広く関係者へのアンケート調査を実施し、課題、意見等の把握を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も祭り関係者との意見交換を継続し、他地域の事例等の収集を行いながら、より効果的な対応策を検討する。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>調査票</b></p> <p>○趣旨 本調査は、各保存会や神社において継承に取組んでおられる祭礼行事(獅子舞や開場業、踊り等の伝承芸能のほか屋台行事等)の現状について回答をお願いするものです。必要に応じて各行事の担当者様に関き取っていただくほか、それぞれの団体において把握しておられる内容について、該当する項目に ○ をご記入いただき、( ) 内に状況やお考え等をお書きください。</p> <p>問1. これまでに祭礼行事の取りやめ、実施規模の縮小などをおこなったことはありますか?                      ・ あった ⇒ 問2へ                      ・ ない ⇒ 問3へ</p> <p>問2. その理由は何ですか? (複数回答可)                      ・ 天災等による被害を受けたため                      ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛                      ・ 人手不足                      ・ 資金不足                      ・ その他 (内容: )</p> <p>問3. 貴団体においては、今後当面の間(10年程度)祭礼行事の維持は可能とお考えですか?                      ・ 可能 ⇒ 問5へ                      ・ 不安 ⇒ 問4へ</p> <p>問4. その理由は何ですか? (複数回答可)                      ・ 人手不足                      ・ 資金不足                      ・ その他 (内容: )                      ⇒ 裏面へ</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>問5. 祭礼行事を維持するために、これまで何らかの対策をおこなったことはありますか?                      ・ ある (内容: )                      ・ ない</p> <p>問6. 祭礼行事の維持に向け貴団体において、最も望ましいと考える対応は次のうちどれですか?                      ① 他地域から人を募集して祭礼行事を維持する仕組みの導入                      ② 金銭的支援の拡大                      ③ その他 (内容: )</p> <p>問7. その他ご提案やご意見がありましたら、お書きください。                      ( )</p> <p>回答団体名: _____                      氏名: _____ 電話番号: _____                      ※必要に応じ、こちらからお問い合わせすることがあります。</p> <p>アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。ご記入いただいたアンケートは、同封の封筒にて高山市役所文化財課までお送りください。</p> </div> </div>		
祭礼行事の継承に向けたアンケート調査		

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化遺産・地域資源活用調査事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業		
計画に記載している内容	高山祭の屋台は、国指定文化財の23台(山王祭、八幡祭)、県指定文化財の2台(飛騨総社、東山白山神社)が現存しているが、かつては更に多くの屋台が存在していたことが知られている。また、旧町村地域にも現在は使われなくなった屋台が蔵に保管されているほか、詳細な調査が行われていない地域資源も存在している。これらの文化遺産等について、現存する資料の把握や現地調査、聞き取り等により、その歴史的経緯や現状について調査を行い、保存・復刻・活用等を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
祭屋台の保存・復刻調査について、令和元年度までに調査した結果を6月に報告書としてまとめ、市のホームページ等で広く公開を行った。また、3月には朝日地域において調査結果資料を各町内会へ回覧した。料亭洲さき建造物調査について、調査報告書を2月に刊行し、関係機関等へ配布した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭屋台の保存・復刻調査の結果について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みながら地元説明会を開催する。料亭洲さきについては調査結果をもとに国指定への取り組みを文化庁と協議しながら進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
祭屋台や各地域の伝統文化の保存・復刻に向けた調査報告書 (令和2年6月発行)			
			
料亭洲さき建造物調査報告書 (令和3年2月発行)			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
町並み歩行空間創出事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和6年度		
支援事業名	景観まちづくり刷新支援事業、市単独事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺の通りにおいて、景観に配慮した舗装・側溝の整備による美装化や、外縁部の駐車場からの誘導ルートとなる人道橋の新設などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市道上二之町大新町線、市道馬場川原線等において、景観配慮型の側溝整備や舗装整備を行ったことにより、町並み景観と調和した、潤いのある歩行空間が創出された。 宮川朝市通りがある宮川右岸と、本町通り商店街のある宮川左岸とを結ぶ新たな歩行ルートを確認し、まちなかにおける観光客等の回遊性を高める人道橋は、平成30年度から整備に取り組んできたが、6月末に完成し、7月より供用を開始した。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・市道上二之町大新町線ほか修景整備(施工延長 L=689.2m) ・人道橋整備(上部工工事・下部工工事ほか)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
「行神橋」と命名された宮川右岸と宮川左岸を結ぶ人道橋			
			
整備前		整備後	

		評価対象年度	令和2年度
項目			現在の状況
スポット整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	観光客が楽しく快適にまちを巡ることができる歩行空間を創出するため、主な動線にまちかどスポット(お休み処)を整備する。整備においては、景観に配慮したベンチや植栽等の配置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
多くの寺院や東山遊歩道などがある散策スポットに、休憩スペースや多目的トイレのある周辺景観に配慮した憩いの場を整備し、歩行空間の魅力と利便性の向上を図った。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・大雄寺スポットの整備:1箇所			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

大雄寺スポット



整備前



整備後

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
まちな博物館外国語対応事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	外国人観光客の増加に伴い、外国人観光客が多く立ち寄る飛騨高山まちな博物館において、展示物の説明表示を多言語化するとともに、外国語で展示内容や高山の歴史文化を説明できるガイドを養成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
飛騨高山まちな博物館ボランティアガイド有志による、多言語ガイドに関する勉強会(多言語ボランティアの会)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。 地域通訳案内士にまちな博物館主催「語り部養成講座」への参加を呼びかけ、参加いただいた。「語り部養成講座」への参加により、外国人へのガイドを行う際に必要な高山の歴史・文化についての具体的な知識や手法について習得することができ、ガイドの資質向上に寄与した。			
<input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・「語り部養成講座」への地域通訳案内士の参加:4人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
地域通訳案内士が参加した「語り部養成講座」の様子 (令和2年10月10日)			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、周辺環境の整備事業等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	指定等文化財については、適切な保存が図られるよう計画的に修理を実施する。 文化財指定建造物のほとんどが木造であり、火災や地震に対し脆弱であるため、火災報知設備の設置や耐震対策を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定文化財の計画的な修理や防災対策を実施することにより、適切な保存を図ることができた。築300年を経過した市指定文化財建造物の修理及び耐震補強工事を、高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル講習会を受講した地元の設計士が担う、初めての取り組みとなった。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・指定文化財の保存修理事業:2件 (市指定:旧豊坂家住宅、大隆寺弁天堂)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
旧豊坂家住宅修理工事、耐震補強工事			
			
			
旧豊坂家住宅耐震壁設置状況		大隆寺弁天堂板唐戸修繕工事	
			

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	飛騨高山まちの博物館については、市の歴史民俗資料の保存活用の中心施設として、郷土教育や伝統文化の継承の場としても活用を図っていく。 文化財に関する講座の開催や出前講座の開催等、文化財の保存及び活用に関する普及啓発を、様々な機会を使って実施する。 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
飛騨高山まちの博物館において、特別展を年4回開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により来館者は減少したが、趣向を凝らした展示で来館者に高山の歴史や文化にふれていただく機会を提供した。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・飛騨高山まちの博物館利用者数: 89,466人(R元: 195,859人)  景観町並保存会や高山祭の屋台を保存する団体、地域の伝承芸能や文化財の保存団体に対して活動補助を行った。 <input type="checkbox"/> 令和2年度実績 ・景観町並保存会に対する補助金: 21団体 ・高山祭の祭礼復興に対する補助金: 1団体 ・指定文化財保存会に対する補助金: 2団体 ・史跡保存会に対する補助金: 12団体  地域の有形無形の伝統文化や文化財の保存活用、美しい景観の保全などを目的に、3年以上活動している団体や個人を市長が認証する「美しいふるさと認証制度」について、令和2年度は5団体を認証し、これまでの認証団体が136団体となった。各団体の活動を公的に認めることにより励みとなるほか、市広報紙などでのPRにより、活動の活発化につながった。 <input type="checkbox"/> 令和2年度美しいふるさと認証者 ・伝統文化啓発: 2団体、史跡保存: 2団体、文化的景観: 1団体  高山市景観町並保存連合会の3つの専門部会において、例年、市と連携して事業を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため予定どおりの活動ができなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
「美しいふるさと認証 認証章授与式」の様子 (令和2年11月1日)			

		評価対象年度	令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
若者の活動拠点「村半」が1日共用 下二之町の旧村田邸を市が改修し	令和2年6月29日	高山市民時報	
新しい橋の名前は「行神橋」 さっそく多くの市民が渡る	令和2年7月6日	高山市民時報	
歩行者専用「行神橋」が開通 高山中心部 欄干にヒノキ製格子	令和2年7月6日	中日新聞	
歩行者専用「行神橋」が完成 宮川の右岸と左岸、往来が可能に	令和2年7月7日	岐阜新聞	
旧村田邸改装、「村半」オープン 若者のための活動施設に	令和2年7月9日	中日新聞	
愛宕町に「大雄寺広場」整備 憩いの場や多目的トイレを	令和2年7月13日	高山市民時報	
上三之町と駅前の人出調査 市がAI顔認証のカメラで	令和2年7月29日	高山市民時報	
高山市築150年「村半」、多目的施設へ改装 旧商家、若者の場所に	令和2年8月16日	岐阜新聞	
市文化財・旧豊坂家住宅 見学会を開き40人が参加	令和2年8月31日	高山市民時報	
西洋漂う旧須田歯科医院 高山市指定 景観重要建造物に	令和3年1月23日	岐阜新聞	
若者憩いの場 徐々に浸透 高山の「村半」整備から8ヵ月	令和3年2月28日	中日新聞	
中部の未来創造大賞で奨励賞 若者等活動事務所・村半が	令和3年3月31日	高山市民時報	

令和元年度は、国内外で文化財が被災消失する事件が発生し、文化財の緊急総点検や防災マニュアルの策定など、国・地方自治体をあげて全国的に防火対策が実施される契機となった年であった。令和2年度、高山市内においては、市指定文化財(建造物)である「旧豊坂家住宅」の修理工事とあわせ、耐震予備診断・基礎診断を踏まえた耐震補強工事を実施した。報道によって、文化財保存の重要性が広く発信されるとともに、市民の地域の文化に対する誇りの醸成に繋がった。

また、令和2年3月末に完成し、7月に供用開始した若者等活動事務所(村半)については、地域づくりのための活動を表彰する第21回「中部の未来創造大賞」(中部の未来創造大賞推進協議会)において、人とひと、人と飛騨高山のまちを結び付けることによる持続可能なまちづくりを目指しているとして、奨励賞を受賞した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

**市文化財・旧豊坂家住宅 見学会を開き40人が参加**

およそ300年以上以前に建てられてきた大規模な修理工事が完了した。市指定文化財「旧豊坂家住宅」(奥飛騨温泉(泉郷平湯)の見学会が30日に開かれ、市民ら約40人が参加した(下写真)。

これは所有する平湯町内会(田中誠会)が、市との文化財活用協定に基づいて実施したもので、旧豊坂家住宅は上宝町蔵柱に建てられた木造平

屋建の農家建築で、昭和43年に当時の上宝村文化財に指定され、同年に現在地へ移築。今回の工事では耐震補強や雪の重みでゆがんだ梁の修理などを行い、11月末の完成予定という。

この日参加者たちは壁や建具、床板などがいつたん取り除かれた建物を見学しながら、市職員らから「柱梁の表面は汗をかき、手斧で調整した痕跡が生々しく残っています」などと説明を受けていた。

上宝町宮原から訪れた谷口利一さん(86)は「上宝町にあった頃から知っていますが、今回修理の途中に立ち会えたのは貴重な体験になりました」と話していた。

令和2年8月31日 高山市民時報より



令和2年8月30日  
「旧豊坂家住宅」現地見学会の様子



**新しい橋の名前は「行神橋」 さっそく多くの市民が渡る**

宮川朝市が並ぶ下三之町と本町3、4丁目を結ぶ新しい人道橋の完成式が5日に本町側の橋で開かれ、住民や市、工関係者ら約70人が出席。式典の中で橋の名前が「行神橋」(ぎょうじんはし)と発表された。これは下三之町の屋台組「行神」から命名されたもの。両地域の架け橋となることにも、同橋を中心として、同橋を中核に下町エリア全体の魅力や価値を高め発展していくことなどの願いを込めたという。

同橋は市民や観光客の利便性と回遊性を向上させることで、周辺地域の活性化につなげることなどが目的。20年ほど前から周辺住民や事業者が要望していた。橋長41・7㍍、歩道の幅員3㍍。ヒノキの装飾やクッション性の高いコルクの舗装、ライトアップ用の間接照明などが施されているほか、橋桁の塗装には飛騨染めのルーツとされる江戸時代の人気色「憲法色」を採用した。事業費は約2億9000万円。式典では金子衆議院議員や西倉副市長らによるテープカットや渡り初めなどが行われ、西倉副市長は「景観を損なうこと

【上写真】供用が開始されると待ちわびた多くの人々がさっそく橋を渡り、記念撮影を楽しむ人も。……と話していた。

令和2年7月6日 高山市民時報より

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目

**観光客等の回遊性の向上**

計画に記載している内容 道路の美装化や新たな歩行動線の確保、交通体系の見直しによる良好な歩行空間の創出により、市街地における観光客の回遊性の向上を図る。

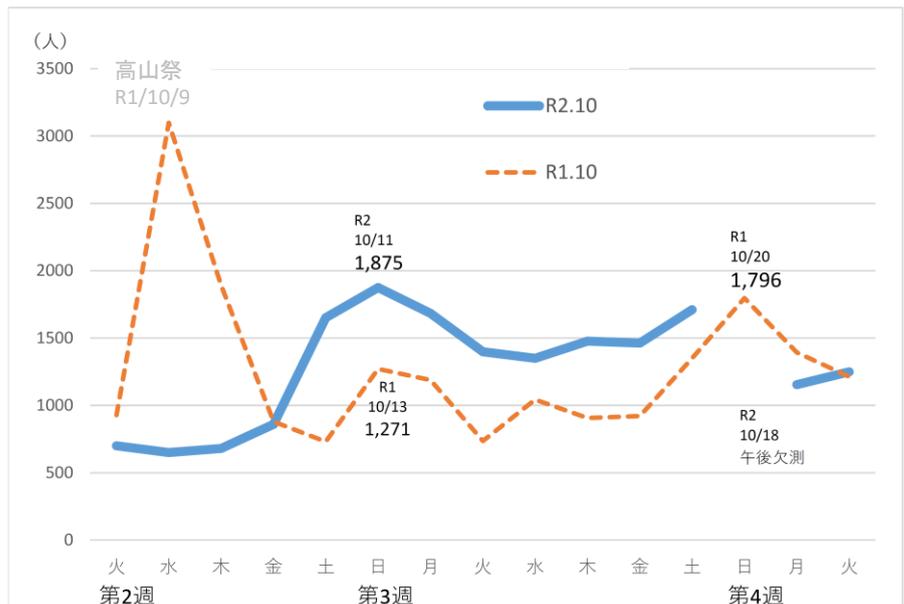
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客は激減し、10月9日、10日の秋の高山祭における屋台行事も中止となったが、宮川左岸の本町3丁目商店街における10月の人流量計測では、歩行者数が前年を上回った(高山祭期間以外)。宮川朝市通りと本町3目を結ぶ人道橋「行神橋」の新設による新たな歩行動線の確保に伴い、右岸側から左岸側へ歩行者が流れていることが推測され、今後の市街地における観光客の回遊性の向上に期待が持てる結果が得られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



宮川左岸 本町3丁目商店街での人流量計測結果

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 高山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和3年4月19日～5月7日(意見聴取)	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風致の維持向上を目指し、伝統的建造物の修理を軸に、町の人々の生活が景観に溶け込めるような事業が進められている。町の歴史をもう一度発掘しながら調査を行ったり、住民の思いを加えて事業を進めたりしてほしい。</li> <li>・地元住民の暮らしの為にいろいろな整備事業が進められ、インフラを始め良くなっていることを各所で感じる。観光客もそれだけの魅力を感じて高山へ来てもらえるのではないかと。もう一度原点に戻って、高山の魅力を引き出す方策を考え、何ができるかを考えそれに沿った企画を進めることが、今、必要なことである。</li> <li>・形態改修等の補助金、活動を促進する講座等機会の提供の把握はされているが、その活用や効果、成果なども検証されたい。</li> <li>・歴史的、伝統的建造物等を保存・継承・活用するために、他部局との連携を図り、各部局が所管する団体、機関とも協働していくことで、計画の実効性を高められたい。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症等の社会情勢に鑑みながら、地元住民との意見交換の場を設けて、引き続き、地元住民の意見や思いを汲んで調査や事業等を進める。</li> <li>・生活する地元住民が誇りを感じ、持続可能なまちであり続けるため、また、来訪者にまちの魅力を感じてもらうために、後世に残すべきものが何か、魅力的な景観とは何かを考えながら、引き続き地元住民と連携し、高山の歴史や文化に根差した事業を進めていく。</li> <li>・各事業の性質に応じて適切に効果の検証を行うとともに、令和3年度の間評価においては、有識者による外部評価を実施するため、その結果を今後の事業に活かしていく。</li> <li>・引き続き、関係各課や関係団体と連携しながら、計画の実効性を高めていく。</li> </ul>	